

新潟県佐渡市

管理費の軽減と環境政策を両立 防犯灯 8,000台が LED照明に

新潟県・佐渡島内の10市町村が合併して2004年に誕生した佐渡市では、市内全域にある約8,000台の防犯灯を蛍光灯からLED照明に切り替える、大掛かりなリニューアルを行いました。「美しく環境にやさしい島づくり」をテーマにした市政の一環で、島の南側、約4,000台のLED防犯灯にパナソニック電工製を採用することとなりました。

国の経済政策が後押しした、島全域の防犯灯リニューアル

佐渡市では2004年の市町村合併を機に、各地区の防犯灯の維持管理費を市が一括負担することになりました。地区住民には喜ばれましたが、一方でこの費用の負担が、市政の大きな課題の一つとなっていました。

また同市は2005年に制定した「環境基本条例」に基づき、資源リサイクルや低炭素社会実現の取り組みを推進中で、この面からも、使用電力量の削減が求められていました。

住民の負担軽減と環境保全を両立させる方法を検討していた時、内閣府が緊急経済対策の一環として「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を創設。

佐渡市はこの適用を受けて2010年度の補正予算に組み込み、懸案の防犯灯リニューアルを実現。市内約8,000台の防犯灯をすべて、蛍光灯からLED照明に取り替えることになりました。

導入コストは約2億7,000万円。規模が大きなことから、メーカー各社から詳細な資料を取り寄せ、慎重な検討が重ねられました。その結果、島の南半分地域の約4,000台は当社のLED防犯灯を採用されました。

寿命の長さも採用の決め手に。一層の省エネで進む「共生社会」

LED照明器具ご採用の一番の理由は、高い省エネ効果により、環境負荷と電気料金を抑制できる点です。また

約6万時間というランプ寿命の長さも、メンテナンス費用軽減の面から高評価をいただきました。さらに既存の防犯灯の設置間隔が比較的近接していたため、LED防犯灯の中でも消費電力が比較的低い8.7Wタイプ(蛍光灯防犯灯20W相当の照度)でも十分な防犯機能を果たせることが判明し、いっそうの省エネ化が果たされました。

今回、導入されたLED防犯灯は従来の蛍光灯と比較して60%近い省エネ効果があり、リニューアル完了時には、大きな経費削減が期待されています。

人と国際保護鳥トキとの共生をめざし、環境保護政策に力を注ぐ佐渡市。当社のLED防犯灯が、その一助となりました。



LED防犯灯にリニューアルされた、佐渡市内海岸沿いの道路



8.7Wタイプでも防犯灯として十分な照度を確保している、市街地のLED防犯灯

